

## <プロジェクト部門から離れてしまったら～CPU取得モデルケース（間接部門）>

日本プロジェクトマネジメント協会事務局

### 【プロジェクト部門から離れてしまった場合】

Aさんは、プロジェクトマネジャーを目指す大手エンジ会社の配管エンジニア。PMS資格に挑戦、見事合格しました。

しかしAさんに青天の霹靂が。ある日、急に上司から呼ばれ人事部門への異動を命じられました。人事評価制度改革の取り組みに、若手の信頼厚いAさんの知見を活用してほしいとのこと。

抵抗むなく押し切られ、腹を決めたAさんですが、気になったのがPMS資格。プロジェクト部門から離れたら、継続が難しいのではないかと心配し、事務局に問い合わせのメールをしました。

#### ■ 事務局に問い合わせメールをしてみる

1. PMSを持っているのですが、プロジェクトを離れて人事部門に異動することになりました。資格の継続は難しいのでしょうか。
2. 人事部門において従事する業務は、人事評価制度改革の推進のための見直しと……です。

#### ■ プロジェクト部門でなくてもCPUは取れるのだ ～ 事務局からの返信

1. 安心してください。計画的に進めれば、PMS資格継続の条件である『5年間80CPU』という条件は、無理なくクリアできます。
2. まず簡単ところで「IV. 受講」から説明します。Aさんは、PMAJの会員ですので各年度2CPUが得られます。毎年秋に2日間にわたり開催されるPMシンポジウムへの半日の参加で5CPU。また、東京、大阪で毎月実施している例会に参加する度に原則3CPU得られます。3ヶ月に一度参加すると、毎年12CPU。これだけで5年間95CPUとなります。
3. 次は「I. 実務活動」で、皆さん誤解されていることがあります。Aさんのようなエンジニア系の会社であればプラント建設に、そうしてIT系のSIerであればSIプロジェクトに関与していないと「実務活動」とみなされない、と思われがちですが、そうではありません。P2Mという「プロジェクト活動」とは「特定ミッション」を受けて行う「価値創造事業」ですから、Aさんのいらっしゃる人事部門にも該当する業務はあるはず。まさに Aさんが参加する人事評価制度見直しも、プロジェクト活動といえます。

これまでは、ルーティンワークと思われていた新卒・中途採用活動等も、求人マーケットの状況や社内の人材ニーズを見て、毎年異なったやり方をとることが多くなってきました。

毎年基本計画から計画立案を策定するのであれば、プロジェクト型と考えていいと思います。

モデルケースでは、リーダー又は、それに順ずる立場で参加する人事評価制度改革で、1年間に450時間活動された場合の3CPU（1CPU／150時間）に加算点2CPUを加えて3年間で15CPU、更に新卒・中途採用活用により1年間に300時間で5年間で活動された場合の10CPUと

合わせて、5年間で25CPUが得られます。

IV. 項と合わせて、120CPUです。

4. また、人事評価制度改革のプロジェクト終了後に是非事例発表してはいかがでしょうか？「Ⅲ. 普及・啓蒙・教育・訓練」で6CPUになりますし、PMAJの会員にも大変参考になります。また、人材育成に興味があれば「TPS（トヨタ生産方式）に学ぶPMWG」にメンバーとして参加してはいかがでしょうか。人間系スキルを研究しています。これが年間4CPUです。全部で、146CPUとなります。（詳細は下記のCPU取得モデルケースを参照）

■ 事務局へ返信

このやりとりで安心したAさん、「人事評価制度改革のプロジェクト、絶対成功させるぞ」と俄然やる気が。早速、「TPS（トヨタ生産方式）に学ぶPMWG」にも申し込みました。

<困ったら事務局に相談を >

いわゆる「プロジェクト部門」の方でなくても、PMS 資格更新は十分に可能です。ご不明な点があれば、Aさんのように事務局までお気軽にEメールでお問い合わせください。

以上

§ CPU 取得モデルケース

活動区分／活動内容		年 度					CPU 合計
		1	2	3	4	5	
<b>I. 実務活動</b>							
<b>具体的活動</b>							
(1)PM 実務活動	人事評価制度改革	3	3	3			9
(2)加算点	①複雑性	1	1	1			3
	②企業貢献度	1	1	1			3
(1)PM 実務活動	新卒・中途採用活動	2	2	2	2	2	10
<b>I. 項合計</b>							<b>25</b>
<b>Ⅲ. 普及・啓蒙・教育訓練</b>							
(4)事例発表	人事評価制度改革				6		6
(6)PM 団体活動	TPS（トヨタ生産方式）に学ぶPMWG	4	4	4	4	4	20
<b>Ⅲ. 項合計</b>							<b>26</b>
<b>IV. 受講</b>							
(1)PM 関連イベント	PMAJ 会員（年間）	2	2	2	2	2	10
	PM シンポジウム（半日）	5	5	5	5	5	25
	例会（4回／年）	12	12	12	12	12	60
<b>IV. 項合計</b>							<b>95</b>
<b>総 計</b>							<b>146</b>